

意見書案第4号

意見書案について

別紙、「TPP交渉からの撤退を求める意見書（案）について」を議決されたく
会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成25年12月19日提出

加西市議会議長 森元清蔵 様

提出者	加西市議会議員	別府 直
賛成者	〃	衣笠 利則
〃	〃	森田 博美

ＴＰＰ交渉からの撤退を求める意見書（案）

ＴＰＰは農林漁業、食の安全、医療制度、保険など、国民生活に広く影響を及ぼし、ＩＳＤ条項は国家主権を揺るがしかねない重大な問題を含んでいる。

こうした不安や疑念が払拭されないまま、交渉に参加したことは重大である。

これまで、４４道府県や全市町村の８割余におよぶ議会が反対ないし慎重な対応を求める決議を行い、広範な分野の団体が交渉に反対してきており、また、国論を二分した世論状況にもある。

政府はこれまで再三にわたって「国益を守る」としているが、政府の交渉方針は明確でなく、守れる保障は全くない。

さらに政府は、情報開示を約束し、国民的議論の重要性を強調してきたが、交渉に参加するにあたって結んだ保秘契約を盾に、情報の公開を拒否している。

このまま推移するなら、国民は交渉の内容や経過を知ることなく結論だけ押し付けられる危険性があり、到底容認できるものではない。

衆参の農水委員会は農産品５品目の関税撤廃が除外できない場合は交渉から離脱することを明記した決議をあげている。

このように、国民的議論の不十分さに加えて、国益を守れる保障がなく、情報すら公開できないＴＰＰ交渉は撤退する以外ないことから、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

- １．ＴＰＰ交渉の内容を国民に開示すること。
- ２．ＴＰＰ交渉から撤退すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

平成２５年１２月１９日

兵庫県加西市議会